

さくら市議会だより



2013年8月1日
〈平成25年〉

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

▶7月12日の長嶋茂雄さん市民栄誉表彰式当日、会場となった「長嶋茂雄記念岩名球場」の前で、母校である佐倉高校の野球部員や市長、議長などに囲まれている長嶋さん(写真中央)



6月定例会

一般会計補正予算など 15議案を可決・同意

岩名運動公園内の野球場の名称を

「長嶋茂雄記念岩名球場」に

改める条例を可決

佐倉市議会は、6月3日から6月24日までの22日間にわたり、平成25年6月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成25年度佐倉市一般会計補正予算」など議案15件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意しました。請願・陳情については、「国における平成26(2014)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など4件が、議員提出議案については、「憲法第96条の改正に反対する意見書」など7件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に13人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

5月臨時会

議長に 川名部実 議員 副議長に 岡村芳樹 議員 を選出

平成25年5月臨時会を5月21日に開催し、市長から「専決処分承認を求めることについて」など議案4件が提出され、審議の結果、すべて承認、同意しました。

さらに、議長と副議長の選挙を行い、議長に川名部実議員、副議長に岡村芳樹議員を選出するとともに、そのほか各組合議会議員の選挙、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。(議会の構成については6ページに掲載しています)



かわなべ みのる
川名部 実 議長

第57代議長。平成15年4月初当選以来、連続3期、第50代副議長を務める。
〔所属会派・さくら会〕

おかむら よしき
岡村 芳樹 副議長
第55代副議長。平成15年4月初当選以来、連続3期。
〔所属会派・公明党〕

表彰

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が表彰されました。

- 山口 文明 議員
- 川名部 実 議員
- 櫻井 道明 議員

◇全国市議会議長会より
一般表彰議員在籍10年

開かれた議会の実現を目指して!! —インターネット中継がスタート—

本年6月定例会より、本会議のインターネット中継をスタートしました。

中継は、ライブと録画の2種類で、いつでも視聴することができます。なお、録画中継については、おおよそ1週間後からの配信となります。

視聴される際は、市議会ホームページからご覧いただけます(下の図の部分をクリック)。

また、市議会の一層の活性化を図るため、実現可能な部分から、着実に改革を進めていきます。具体的には、会派代表者会議と議会運営委員会が中心となり、これまで以上のスピード感をもって協議を進めていきます。

〔佐倉市議会ホームページから〕



【URL】<http://sakurashigikai.gijiroku.com/>

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたる質問をすることをいいます。

6月定例会では、6月10日から6月13日までの4日間をわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(8月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(8月下旬配信予定)でご覧ください。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間1時間、それ以外は30分、()内は会派名。

- 代表質問 櫻井 道明(さくら会) ※
1 市長の政治姿勢について
2 まちの活性化について
3 都市問題について
4 災害時の給水対策について
5 福祉問題について
6 子育て支援について
7 佐倉の教育について
小須田 稔(公明党)
1 農業振興について
2 安心・安全なまちづくりについて
3 教育について
伊藤 壽子(市民ネットワーク)
1 子宮頸がんワクチン接種被害について
2 化学物質過敏症問題について
3 水稲への農薬ヘリコプター散布について
4 公文書の年の表記について
和田 恵子(佐倉市民オンブズマン)
1 職員人件費について
2 子育て支援について
3 指定管理者制度について
村田 穰史(みんなの党)
1 福祉と街づくり
2 教育について
3 防犯について
4 医療費について
個人質問
高木 大輔
1 内部事務作業におけるペーパーレス化について
2 情報通信技術(ICT)を活用した教育について
井原 慶一(さくら会)
1 市政一般
2 教育一般
橋岡 協美(さくら会)
1 行財政運営
2 がん対策
3 社会福祉協議会
柏木 恵子(公明党)
1 「小型家電リサイクル法」の成立を受けて
2 防災対策について
3 教育問題について
久野 妙子(公明党)
1 道路の環境問題について
2 健康診断について
3 職員の資質向上について
桐生 政広(さくら会)
1 防災・減災対策について
2 水道事業について
3 少子高齢化対策について
萩原 陽子
1 食育推進計画について
2 産業振興ビジョンについて
3 自然環境の保全に配慮したまちづくり
大野 博美(市民ネットワーク)
1 ファシリティ・マネジメントについて
2 ハッ場ダムについて
3 再生可能エネルギーについて
富塚 忠雄
1 生産年齢人口の増加策について
2 学校でのスポーツ事故防止について
3 国史跡井野長制遺跡について
五十嵐 智美(市民ネットワーク)
1 介護保険制度について
2 防災対策について
3 子育て施策について
岩井 功(みんなの党)
1 市民の権利を守る為の統治システムと適切な運営について
松原 章
1 道路行政について
2 「佐倉市開発行為等の規制に関する条例」について
3 議場の国旗設置について
為田 浩(さくら会)
1 地域力について
2 生活保護について
3 小学校、中学校について

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問

市庁舎の整備に

さくら会

櫻井道明

今後の人口構成や行政サービスの変化などの要因を分析し、市庁舎の整備を進めることが重要であるが、現段階において整備方針はどのようになっているか。また、今後の地震等も心配される中で、市民、専門家、議員等も交えた検討委員会を立ち上げ、スピード感を持って進めていくべきと考えるがいかがか。

人口減少や少子高齢化への対応、高等教育環境の整備、経済振興の活性化等に資することから、以前から佐倉と関係の深い順天堂大学の誘致を実現していただきたいが、市としての対応は、人材育成、文化芸術の振興、まちの活性化等、大学誘致は多くのメリットが期待でき、イメージアップにもつながる。誘致のための多額の財政支援はできないが、現在順天堂大学と積極的に情報交換しており、昨年締結した連携協働協定に基づく事業を進める中で、信頼と協力関係をさらに深めるよう努めたい。

新町通り周辺の活性化について

新町通り周辺にある美術館、図書館、印旛支庁跡地にある駐車場等の公共施設を活用することによる周辺の活性化や利便性の向上をどのように考えるか。

各公共施設の整備を進める上で、歴史的建造物や町並みを生かし、利用者の利便性や活性化につながるよう施設の再配置や整備方法を調査研究していく。

公明党

小須田稔

農業振興について
6次産業化は農業者自身が生産から販売までを一体的におこなう事業であることからそのサポート体制が重要と考えるが、

生産・加工・販売まで行うため専門的な助言が必要となってくる。そこで県の6次産業化サポートセンターから派遣されるプランナーの活用と市としての情報交流ができるネットワークの構築を進めていきたい。

市民ネットワーク

伊藤壽子

子宮頸がんワクチン接種被害
ワクチン接種による副反応報告は1926件、うち重篤な副反応は861件(死亡1件)。四肢の運動能力の低下、歩行不能など未回復も多数ある。ギランバレー症候群や自己免疫疾患等も含めると被害者は増えるだろう。治療方法もなく想像もできない痛みを苦しんでいる。佐倉市の副反応被害者数は、

佐倉市民オンブズマン

和田恵子

H25年度人件費について
昨年度は減少であったが今年度は約1億円(1.1%)人件費が増加した理由は何か?

職員数21名増。保育士の任期付職員8名採用、給与費増による共済費等の増加による。

個人市民税は約5億円減。市税全体では約2.3億円の減少。人口減少で市民の担税力は低下する中、人件費が増えては市民サービスの縮小に繋がる

みんなの党

村田穰史

福祉と街づくりについて
福祉施策が充実しても、外出しやすい街づくり、具体的には、道路環境整備や施設整備ができてい

なれば、佐倉市の街の魅力が半減してしまうと考える。高齢者や車椅子ご利用の方が、気軽に外出できる環境の整備が必要である。公共施設における車椅子ご利用の方々の誘導標示を充実すべきと考える。又、音楽ホールの車椅子用設備の充実を要請する。

個人質問

内部事務作業におけるペーパーレス化について

高木大輔

行政経営の視点に立った市政運営として、庁内イントラネットを有効活用した事務の効率化・省力化の推進と、ペーパーレス化について考えを問う。

電子掲示板システムの利用、コピー機の複合機導入など一層のペーパーレス化を図っている。

更なる取組みとして、部長会議のタブレット端末を活用したペーパーレス会議を提案する。

情報通信技術(ICT)を活用した教育について

教育用パソコン1台当たり児童、生徒数は24年度の全国平均が6・6人に対し佐倉市は25年5月現在7・4人である。情報教育のすすめ方とタブレット端末の導入について考えを問う。

情報の主体的活用、科学的理解と、情報モラル教育に取組んでいる。タブレット端末の導入は調査・研究をすすめていく。

佐倉市の経営資源について

長嶋氏をはじめ、佐倉市出身の著名人に一堂に会えるモニメント(建造物)をつくる考えはないか？

佐倉市ゆかりの偉人の存在は重要な文化的資源であり、その活用について研究していく。

コンプライアンス(法令遵守)について

内部告発体制はあるか？公益通報者保護法に基づき、制度を整備している。

インターネットについて

7月の参議院選挙からインターネットを利用した選挙運動が解禁されるが？

インターネットによる誹謗中傷、成り済ましについては、立候補者等が削除をプロバイダに請求でき、罰則もある。

この他に「防災について」

防災無線や防災ラジオ、「教育について」土曜授業や道徳教育について質問しました。

行財政運営について

橋岡協美

新地方公会計制度で資産台帳が一元管理され、減価償却も勘案したデータの活用を問う。

財務諸表を作成する目的は、資産や負債など財務状況を明らかにし、自治体経営をよりよく進めるためです。

今後、総合計画や行政改革プランなどを策定するうえで、有効に活用できるよう研究していきたいと考えております。

がん対策について

がん検診受診率アップと早期発見のために、血液検査による胃がん検診と細胞診&HPV検査併用の子宮頸がん検診の導入について問う。

国の動向を見極め研究していきたいと考えております。

社会福祉協議会が担う地域福祉

社協の会費と配分について、検討が必要と考えるが、如何か。

会員等の理解が得られるよう、検討を要請していきます。

「小型家電リサイクル法」の成立を受けて

小型家電に含まれる貴金属、レアメタルなどの回収推進の「小型家電リサイクル法」が、公明党の主導により、昨年8月成立、本年4月施行となった。

法律の目的は①鉱物資源の確保②鉛などの有害物質の環境リスク管理③最終処分場への埋立減量化を踏まえた循環型社会形成の推進である。佐倉市が、小型家電(粗大ごみ雑芥類である金・アルミなども共に)回収を行う場合、ステーション回収ラインの中での回収は可能か、その場合小型家電の対象品目はどうか、法成立を受け今後の市の取り組みを問う。

ステーション回収は可能であり、実施の場合、法律で定め

る28分類全てが対象になると考えるが、回収できる大きさの制限及びパソコン等に含まれる個人情報への配慮が課題となる。

がん検診について

公明党 久野妙子

胃がん原因の95%がピロリ菌と言われている。血液検査でピロリ菌の有無及び胃の萎縮を見るペプシノゲン検査の導入を提案するが、考えを問う。

直接胃がんを発見するものではないため、レントゲン検査と併用する必要性や国の動向などを見ながら慎重に検討したい。

信頼される質の高い行政サービスを提供するためには、職員の更なる意識改革を図る必要がある。効率的な人材育成、職員体制を構築するためにも、総合職の導入や職員研修課の設置などを提案するが考えを問う。

職員の資質向上について

職員の資質向上については、人材育成の充実を最大限に発揮できるように総合職、専任職を取り入れた「複線型人事制度」の導入について、検討を始めています。組織改正是検討課題としています。

防災・減災対策について

災害発生時の対応として、業界団体等との災害協力協定の有効性を担保するために市として何をなすべきか。

協定の有効性の確保に向け、同じ物資でも複数の事業者と協定、地元や近隣の製造工場等との協定、道路や交通機関の被災に備え、建設業団体や運送業者との協力体制などにより確実な物資の確保に努めている。

水道管の漏水事故等の対応

漏水修繕や災害時に使う防災井戸の管理は、佐倉市管工事協同組合に協力いただいている。この組合活動が円滑に進むよう今後とも指導や助言をしていく。

耐震化を進めるため、私立幼稚園、私立保育園および特別養護老人ホーム等に公的な支援が必要と考えるがどうか。

国で対応策を検討している。

命の源である食の安全の為に地産地消を産業振興ビジョンにどう位置付けているか。

食の安心・安全について

萩原陽子

地産地消は食の安心・安全の基本となるもので、大変重要な施策と捉えている。

この10年間で農家戸数、生産額等どのように変化してきたか。

農家戸数404戸減、農業従事者1882人減、生産額は15億1千万円減少した。

市内農業の現状について

平成15年まで続いた国の減反政策の影響について問う。

生産意欲を低下させ、耕作放棄地が拡大したと考えられる。TPPの影響について

TPP参加により競争原理が徹底され、食料自給率は大幅に減少すると試算される。地産地消を取り入れた学校給食の食材は確保できるのか。

JAいんば等と引き続き連絡、連携をとっていきたい。

市民ネットワーク

大野博美

昭和40年〜60年にかけて建てられた市有施設はこれから一斉に老朽化する。維持保全や改修・建替えの費用は、今後10年間は毎年26億円以上、それ以降は毎年40億〜45億円必要となる。一方、生産年齢人口は減少の一途。税金が見込めず、財源不足に陥る。今から施設の統廃合も含めた「市有施設再配置計画」の策定が必要ではないか。

次世代に負担を残すことのないよう施設の再配置、再整備は検討すべきと考えている。

おいしい地下水を飲み続けたい

八ッ場ダム等の完成で33本の揚水井戸のうち25本の暫定井

戸が閉鎖されるが、せつかくある貴重な資源の地下水をわざわざ放棄することについて見解は。

生産年齢人口の増加策について

富塚忠雄

佐倉市の将来を考え、生産年齢人口の増加策について問う。

保育園の待機児童ゼロ対策としての小規模保育施設整備について。

家庭保育ママ制度を個人から複数の保育ママが同一の場所を実施するグループ型小規模保育事業の実施を検討している。

保育料の第3子以降の無料化について

保育料の第3子以降の無料化について。同時に就園している等の場合、保育園では第3子以降は無料、第2子以降は半額、幼稚園は第3子以降については公立は全額、私立は年間30万8千円まで補助。現時点ではこれが最良である。

その他、「小中学校給食費の3人目からの無料化について」及び「住宅取得費並びに家賃の補助について」も質問しました。

市民ネットワーク

五十嵐智美

24時間体制で医師ないし看護師が待機している在宅療養支援診療所は何か所あるか。

市内には6か所ある。在宅での療養には在宅医だけでなく訪問看護、訪問リハビリ、ヘルパーなど多職種が支援チームとして連携する必要がある。市が様々な職種を交えた会議を行うなど連携体制を整備することが重要。取り組みを問う。

避難所運営のあり方について

さくら市民ネットワークで災害時に設置する避難所のワー

クシヨップを行った際、多くの参加者から市主催での実施要望があった。今後の対応を問う。

市民の権利を守るための統治システムと適切な運営について

若井 功

市民目線を期待できる民間登用と社会人採用について。

民間登用は状況に応じてノウハウ等活用しサービス向上に努める。社会人採用は人物重視で採用し即戦力で活躍している。

職員管理と行政の効率化の観点から現在の人事評価制度は、人材育成を目的にしている。目的意識を高めるため、部署ごとのマニフェストは、今後検討したい。

議会からの行政権に対する抑制監視機能について

行政と独立対等、相互緊張関係の中で自治体運営に当たる。議会は正しい情報がなければ議案等で判断できない。どの情報をどのレベルで議会に説明する必要があると考えるのか。

各部署にて重要と判断した情報は適時適切に説明していく。

道路行政について

都市計画道路、馬渡萩山線田町工区その後の進捗は。

県内部で詳細検討、漸進中。馬渡工区の今後の見通しは。市担当区間は実施計画推進。県担当区間は早期着手強く要望。QVC協新設道路の早期開通により通学路の危険性緩和を。

早期開通に向け努力する。交通量増加により内田区道路非常に危険。対策を願う。交通量調査。区協議後計画に位置付。応急的安全対策実施。南部地区人口減少対策について

規制緩和措置の効果は。11件の新築。効果あった。

制度の地元周知、外部PR必要。移住促進のため制度見直し、空き家バンクを検討しては。

空き家について

さくら会 島田 浩

地域から寄せられる、空き家についての相談件数とその対応、対策について伺います。

24年度中の相談件数は66件で、現地調査を行い、防犯上問題があると判断した53件については、佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例に基づき、継続して適正な管理をお願いしてきました。現在までに38件の所有者が適正な管理に取り組んでいます。対応いただけない方にも引き続き粘り強く要請していきます。

青色回転灯パトロールカーの貸し出しについて

市の公用車を、青色回転灯パトロールカーとして地域に貸し出せるようにしてはどうか？

基本的には防犯団体において自主的に用意していただくのですが、他市の事例を参考に、車両の貸し出しの効果については調査研究していきます。

用語解説

※【HPV】 HPVとは、ヒトパピローマウイルス (Human Papilloma Virus) の略、皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100種類以上のタイプがあります。このうちの一部の種類で子宮頸がん(しきゅうけいがん)の原因となることが多く、発がん性HPVと呼ばれています。ただし、発がん性HPVに感染しても90%以上は体内から自然消失するため、子宮頸がんに進展するのはごくわずかです。

平成25年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 承認 同意
賛成 反対 議長 採決不参加

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党					市民ネットワーク			佐倉市民オンブズマン		みんなの党		会派に属さない議員					
			為田浩	橋岡協美	井原慶一	石渡康郎	川名部実	櫻井道明	山口文明	清宮誠	押尾豊幸	中村孝治	桐生政広	望月清義	久野妙子	小須田稔	柏木恵子	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	和田恵子	上ノ山博夫	岩井功	村田稷史	高木大輔	松原章	萩原陽子	冨塚忠雄
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																														
1	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	監査委員の選任について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成25年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可決 否決 同意 採択 不採択
賛成 反対 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党					市民ネットワーク			佐倉市民オンブズマン		みんなの党		会派に属さない議員					
			為田浩	橋岡協美	井原慶一	石渡康郎	川名部実	櫻井道明	山口文明	清宮誠	押尾豊幸	中村孝治	桐生政広	望月清義	久野妙子	小須田稔	柏木恵子	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	和田恵子	上ノ山博夫	岩井功	村田稷史	高木大輔	松原章	萩原陽子	冨塚忠雄
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																														
1	平成25年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成25年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成25年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	佐倉市条例の左横書き化等に関する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	佐倉市立佐倉東保育園の民営化に係る運営法人選定委員会条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	佐倉市都市公園条例等の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	消防ポンプ自動車購入契約について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	情報公開審査委員の委嘱について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	情報公開審査委員の委嘱について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	情報公開審査委員の委嘱について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	情報公開審査委員の委嘱について	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	和解及び損害賠償の額の決定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情 ※白抜き数字は陳情番号																														
11	「国における平成26(2014)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	日本政府に「核兵器全面禁止のための決断と行動」を求める意見書提出を求める請願書	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
28	「年金削減を中止し、制度改善を求める」意見書採択の陳情	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
議員提出議案 ※数字は発議案番号																														
1	国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	憲法第96条の改定に反対する意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
4	TPP環太平洋連携協定交渉への参加を止めるよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
5	京成本線通勤特急の増便を要請する意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	「電気事業法の一部を改正する法律案」を修正し、電力システムの抜本的改革の実現を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
7	子宮頸がんワクチンの接種事業の再考と副反応被害者に対する救済体制を整えることを求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	

6月定例会 主な議案の概要

議案第1号から第3号までは各会計の平成25年度補正予算、議案第4号から第8号までは各種条例の制定、議案第9号は契約の締結、議案第10号から第14号までは教育委員会委員の任命と情報公開審査委員の委嘱について議会の同意を求めるもの、議案第15号は和解及び損害賠償の額の決定に関する議案です。

【議案第1号 平成25年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ9億1039万4千円を増額するもので、補正後の予算総額は432億5739万4千円となる。歳入の主なものは、国や県支出金、市債などの増額。歳出の主なものは、地域の元気臨時交付金を充当する事業のほか、市債の補償金免除繰上償還に伴う公債費の増額など。

【議案第2号 平成25年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算】

歳入歳出それぞれ2億8171万4千円を増額するもので、内容は、市債の補償金免除繰上償還に伴う公債費の増額。

【議案第3号 平成25年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算】

歳入歳出それぞれ1065万8千円を増額するもので、内容は、市債の補償金免除繰上償還に伴う公債費の増額。

【議案第4号 佐倉市条例の左横書き化等に関する条例制定(2/5/1)】

横書きが主流である一般の公文書との整合を図り、事務の効率化を進めるため、本条例の施行前に公布された市条例を一括して左横書きに改め、あわせて用語等の整理をするもの。

【議案第7号 佐倉市立佐倉東保育園の民営化に係る運営法人選定委員会条例制定(2/5/1)】

佐倉東保育園の民営化にあたり、運営法人の選定に関する市長の諮問機関として、学識経験者、経理の専門家、保護者等からなる選定委員会を設置しようとするもの、また、同選定委員会委員の報酬を定めようとするもの。

【議案第8号 佐倉市都市公園条例等の一部を改正する条例制定(2/5/1)】

佐倉市出身である長嶋茂雄氏の国民栄誉賞受賞を記念し、平成25年7月12日から、若名運動公園にある若名球場の名称を「長嶋茂雄記念若名球場」に改めようとするもの。

ざくろ会

議案第1号から第3号(平成25年度佐倉市一般会計補正予算)に賛成

市の歳入については、その根幹となる個人市民税等の市税収入が減少する厳しい財政状況にある中で、今回の補正で国の緊急経済対策に対応した「地域の元気臨時交付金」のほか、社会資本整備総合交付金、文部科学省のモデル事業など積極的に活用している。

また、平成25年度限りの措置として特定被災地方公共団体は、年利4%以上の旧公営企業金融公庫資金に係る地方債について補償金免除の繰り上げ償還が可能となったことから実施し、その財源として借換債の借入を行うこととしている。このことは将来債務を軽減し、財政の健全化を着実に進めているものと評価するものである。

個別の事業については、交付金を活用した飯野、馬渡地区の排水路整備事業のほか、老朽化した消防団機庫の建て替え、施設のエレベーター改修工事など、経済活性化に寄与することを期待するところである。

また、宝くじ助成金を活用した山車人形のレプリカ作成、自主防災組織への資機材助成のほか、街中にぎわい推進事業として、街路灯の整備や防犯カメラ設置に対する助成を行うなど、地域振興を進めるものとして評価できる。

教育福祉関係では、認知症高齢者グループホームなどの福祉施設について、運営費の助成をする点にも、佐倉地区の白翠園での病後児保育の開始、風しんの流行に対応した予防接種実施のほか、文部科学省の委託を受けた、ことばの発達に支援が必要となる児童の指導に関するモデル事業の予算が計上されており、教育福祉の充実に努めていると認められる。

土木費関係では、これまで市の単独事業で実施していた道路

の維持補修工事が、国の補助対象となったことから、7路線について予算計上され、老朽化対策が進められている。

このほか議案第2号、下水道事業特別会計、議案第3号、農業集落排水事業特別会計の補正においても、繰上償還及び借換債の発行により、将来債務の削減を図っている。

このように執行部においては、住民福祉の充実のほか市民生活の利便性の向上、財政のさらなる健全化、安全安心を確保するための施策を迅速かつ適切に対応していると認められることから、佐倉市補正予算の議案に賛成するものとした。

議案第7号 佐倉市立佐倉東保育園の民営化に係る運営法人選定委員会条例制定に賛成

昨今の社会経済情勢などにより、子育て世代を取り巻く環境は大きく変化し、保育ニーズはますます増加、多様化してきている。

このような時代背景を踏まえ、限られた財源等を最大限有効活用し、保育園全体の運営体制の強化と子育て支援施策のさらなる充実を図るための民営化であり、関係者による選定委員会での移管する法人の候補者を選定することは、現在の保育の質を確保するだけでなく、より一層のサービス向上を図るためにも、有効であると考えられる。

議案第8号 佐倉市都市公園条例等の一部を改正する条例制定に賛成

佐倉市で生まれ育った長嶋茂雄氏が国民栄誉賞を受賞され、その長嶋氏のお名前をいただきたい球場を持つことは、市民にとってたいへん誇りであるものにも、市の知名度を高めるものとも考える。今後、名前にふさわしい球場にしていくことが求められる。

公明党

議案第1号平成25年度一般会計

補正予算について賛成

国からの元気臨時交付金などの充実に伴い道路整備、排水路整備のほか震災後の基準見直しにより市が管理しているエレベーターの補強など生活に直結する補正予算となっており速やかな予算執行が求められる。

学校建設費の小学校施設改築改定が具体的に労働者の給与に反映していくことを見ていく必要があると考える。

発議案第7号子宮頸がんワクチンの接種事業の再考と副反応被害者に対する救済体制を整えることを求める意見書に反対

発議案では現在使われている2つのワクチンは15種類あるといわれるウイルスのうち2種類しか有効でないといわれるが日本の子宮頸がん患者がこの2つのワクチンで有効とされる割合は50〜70%といわれている。

25歳までに子宮頸がんによる死亡例はほとんどないのが現状との意見はウイルスに感染し痛化するまで10年かかるといわれて10代後半で感染したとしても発症は20代後半となり25歳まで死亡例がないのは当たり前である。

効果が期待できず、との批判があるが世界保健機関WHOもこのワクチンを推奨し米英独仏伊など先進各国においては既に公的接種として導入されている。

検診さえしていれば大丈夫といわれているが平成22年度の佐倉市の検診率は18%台で全国でも32%という状況では今後、検診率を向上させていくことは生易しいことではない。

市民ネットワーク

議案第1号、8月1日の生活保護基準額切り下げにより、困窮する家庭は更に困窮させられ、貧富の格差が増大する。制度改善のシステム改修委託料に反対。

意見として①本庁舎保全事業約5200万円について、市長から一切の説明がないままの補

正予算で、未だ不透明な部分が残っている。耐震改修をしても20年持たずに改築工事が必要か？危惧される。今回の設計委託も随契ではなく公明正大な制限付き一般競争入札を強く求める。

②防犯カメラが国と市の補助金を活用してユーカリが丘地区に設置される。個人情報取り扱いは、佐倉市の要綱に基づいた運用をすべきであり、データ管理への市の関与を求める。

議案第6号、国保税の減額対象世帯の課税限度額4万円引き上げは、厳しい経済情勢で苦しんでいる生活が続き中、加入者に更に負担を課すことになるので反対。

佐倉市民オンブズマン

議案第7号「佐倉市立佐倉東保育園の民営化に係る運営法人選定委員会条例制定」は同園の保護者の要望に十分添う事が必要である。委員として父母会の代表者も入るが民営化により大きな影響を直接受ける園児、保護者の思いをどうやってすくい上げるのが重要であり、佐倉市はアンケートを取り、パブリックコメントを求めるなどして審議の際に保護者の要望が十分伝わるようにする義務がある。

また、園児の保育が民営化により不利益が生じた場合は即刻公営に戻すべきである事を主張しておく。

みんなの党

民営化推進の立場から賛成

議案第7号、佐倉東保育園の民営化に係る運営法人選定委員会条例制定について、民間のノウハウ、アイデアによるサービス向上を期待し賛成する。尚、選定に当たっては公平性、透明性の確保を要望する。

電力自由化と発送電分離を推進する立場から賛成

正し電力システムの抜本的改革の実現を求める意見書は地域独占打破と規制緩和による改革を推進するわが党の立場から賛成する。

会派に属さない議員

高木大輔議員

議案第8号佐倉市都市公園条例等の一部改正について

佐倉市の知名度の向上を図るため、若名球場の名称を長嶋茂雄記念若名球場に改めることになったこの機会に、少年野球から社会人野球までのアマチュア野球の聖地となる球場施設になる事を期待し賛成。

松原章議員

議案第1号、一般会計補正予算に賛成

土木費の大幅増額補正により、懸案だった道路改修、排水路整備等が進んだことを評価。

発議案第7号、子宮頸がんワクチン接種再考と副反応被害者救済を求める意見書に賛成

重篤の副反応発症大いに危惧。

萩原陽子議員

議案第1号・6号・7号に反対

補正予算では生活保護基準の引き下げに伴うシステム改修が、就学援助の利用等多くの制度に影響するため認められない。

請願第13号・陳情第28号に賛成

政府に核兵器全面禁止の決断を求める事及び年金削減中止と制度改善を求める事に賛同する。

富塚忠雄議員

議案第1号補正予算は8月から生活保護費の引き下げを実施する為の保護基準見直しのシステム改修予算がある、6号は国民健康保険課税額の限度を77万円に引き上げ市民の負担が増える、7号は佐倉東保育園の民営化を進める為の運営法人選定委員会条例制定であるため反対。

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：平成25年6月17日、6月24日／場所：第四委員会室

《審査結果》

議案1	議案4	議案5	議案6	議案9	議案15
可決	可決	可決	可決	可決	可決
請願13	陳情28				
不採択	不採択				

議案6件、請願1件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、本庁舎保全事業については、設計委託の発注に際し、競争入札の方式により実施されたい、などの意見が出されました。

文教福祉常任委員会

開催日：平成25年6月19日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1	議案7	請願11	請願12
可決	可決	採択	採択

議案2件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、西志津小学校体育館改築事業については、現在のプール部分に体育館が建設されることから児童の水泳指導に支障の無いよう努めていただきたい、風しん予防接種に係る費用の一部助成については、より多くの方が助成を受けられるよう柔軟な対応や周知等に努めていただきたい、佐倉東保育園の民営化に係る運営法人の選定については、子どもと親の立場に立った選定となるよう努めていただきたい、などの意見が出されました。

経済環境常任委員会

開催日：平成25年6月18日／場所：第二委員会室

《審査結果》

議案1	議案3
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、商店会等の支援対策については、引き続き市内各商店会との連絡を密に取り、要望の把握に努め、活用できる補助事業がある場合は速やかな情報周知が図れるよう努めていただきたい、などの意見が出されました。

建設常任委員会

開催日：平成25年6月20日／場所：第一委員会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案8
可決	可決	可決

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、緊急雇用創出事業において入札を行う場合、適正な労働環境が確保されるような仕様とされるよう努められたい、岩名球場の名称変更については、球場が変更後の名称に見合った施設となるよう整備されたい、球場の利用状況や市の財政状況等を踏まえ俯瞰的視点から検討されたい、長嶋茂雄氏の自筆名称鋺もあること等を考えるとより早い時期に実施していれば高い効果が見込めたとも考えられることから、今後同様に佐倉ゆかりの人物の功績が認められると判断される場合には迅速に対応できるよう努められたい、などの意見が出されました。

議会の構成

●会派・各常任委員会等

委員会 会派	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建設常任 委員会	議会運営 委員会	広報公聴 委員会
さくら会	○石渡康郎 川名部実 ◎櫻井道明	○井原慶一 ◎押尾豊幸 望月清義	○橋岡協美 ◎中村孝治 桐生政広	○爲田 浩 山口文明 ◎清宮 誠	爲田 浩 井原慶一 山口文明 ◎桐生政広	○橋岡協美 井原慶一 山口文明 押尾豊幸
公明党	柏木恵子 岡村芳樹	久野妙子	◎森野 正	小須田稔	久野妙子 ◎森野 正	小須田稔 ◎柏木恵子
市民ネットワーク	五十嵐智美	大野博美		◎伊藤壽子	五十嵐智美	五十嵐智美
佐倉市民オンブズマン	和田恵子		◎上ノ山博夫		和田恵子	和田恵子
みんなの党		岩井 功	◎村田穰史		◎村田穰史	岩井 功
会派に 属さない議員		高木大輔	萩原陽子	松原 章 冨塚忠雄		高木大輔

議席番号順、◎会派代表者、○委員長、○副委員長

●組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	村田穰史、押尾豊幸
印旛利根川水防事務組合	押尾豊幸
佐倉市、酒々井町清掃組合	小須田稔、岡村芳樹、山口文明
佐倉市、西街道市、酒々井町葬祭組合	五十嵐智美、冨塚忠雄
佐倉市八街市酒々井町消防組合	柏木恵子、桐生政広、望月清義
千葉県後期高齢者医療広域連合	清宮 誠
印旛郡市広域市町村圏事務組合	川名部実(議長)
佐倉市監査委員	森野 正
佐倉市農業委員	櫻井道明、中村孝治

※各委員会の構成が変わりました

(◎委員長 ○副委員長)

総務常任委員会



和田恵子 柏木恵子 五十嵐智美
岡村芳樹 ◎櫻井道明 ○石渡康郎 川名部実

文教福祉常任委員会



望月清義 高木大輔 岩井 功
久野妙子 ◎押尾豊幸 ○井原慶一 大野博美

経済環境常任委員会



村田穰史 森野 正 上ノ山博夫
桐生政広 ◎中村孝治 ○橋岡協美 萩原陽子

建設常任委員会



松原 章 冨塚忠雄 小須田稔
山口文明 ◎清宮 誠 ○爲田 浩 伊藤壽子

9月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆ 議会運営委員会 8月27日(火)
- ◆ 初 日 9月 2日(月) 午後1時から
- ◆ 一般質問 9月 9日(月)～12日(木)
- ◆ 常任委員会 9月17日(火)～20日(金)
- ◆ 決算審査特別委員会 9月24日(火)～27日(金)
- ◆ 最 終 日 10月1日(火) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細については事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎484-6279

ケーブルネット296では、本会議(初日、一般質問、最終日)の様子が本会議が開催された翌日午後5時30分から放送します。【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

この数年で、議会改革が大きく前進した。①議会傍聴の拡充②項目別質問方式の導入③議会だよりにて、議案に対する議員個人ごとの賛否掲載④議会基本条例・政治倫理条例制定⑤議員定数削減⑥議員報酬削減⑦広報公聴委員会設置⑧議会報告会、意見交換会の開催⑨今定例会からインターネッツ中継開始など。更に市民の負託に応えるための議会体制づくりをと思つ。

(広報公聴委員長 柏木恵子)

歳入増の方策、決算審査を次年度の予算編成に繋ぐ仕組み作り、志津公民館複合施設建設や市庁舎整備に官民連携PFIの手法で取り組む、今後のがん検診の方法、防災防犯の自助・共助、航空機騒音の問題の根本的な解決、国力の礎になる教育の姿、議決とチェック機能である議会の役割を果たすと同時に政策決定に議会としてどのような形で繋ぐかも大きな役割である。

(広報公聴副委員長 橋岡協美)